

ふれあい

第24号

平成24.6.15

題字・川口遊魚さん



▲ 泉学区子育て応援団 コロボックル “こいのほりをつくったよ!”

もくじ

- 24年度事業計画・予算・会費のお願い …… ②～③
- 特集 もっと社会とつながりませんか? … ④～⑤
- 酒田市ボランティアセンターが開設…………… ⑥
- 泉学区子育て応援団コロボックル…………… ⑦
- 福島へ帰ります…………… ⑦
- さまざまなお知らせ…………… ⑧

【発行】

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

〒998-0864 酒田市新橋二丁目1番地の19

酒田市地域福祉センター内

☎23-5765 FAX24-6299

E-mail:shakyo@sakata-shakyo.or.jp

ホームページ:http://www.sakata-shakyo.or.jp/



酒田市社協

検索

八幡支部 ☎64-3765 ・ FAX61-1214

松山支部 ☎62-2843 ・ FAX62-2841

平田支部 ☎52-2260 ・ FAX52-3727

酒田市社会福祉協議会の事業

2 高齢者、障がい者等の権利擁護

(1) 福祉サービス利用援助事業

①認知症や障がい等で判断能力に不安のある方の介護・福祉サービス利用相談、公共料金や生活費の支払いなど日常的な金銭管理、預金通帳の保管などを行います。

(2) 法人後見事業（24年度新規事業）

①判断能力がさらに低下し、自身の意思で決定できなくなった方の成年後見を社会福祉法人としての社会福祉協議会が行います。介護・福祉等に関わる身上監護、預金・不動産等の財産管理、契約の締結・解除などを行います。（現在、準備中）



3 低所得者支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

①低所得世帯等の経済的自立などを目的に、低利または無利子で用途を限定した貸付を行う制度です。市社協は相談・申込み窓口を担当します。（貸付決定機関：山形県社会福祉協議会）

4 ボランティア等市民活動の振興と支援、災害対策

(1) ボランティアセンターの設置

（24年度新規事業）

①市社協内に設置し、ボランティア等市民活動の振興、支援を図ります。東日本大震災の支援活動も継続します。ボランティア保険加入手続きもこちらで受付します。

(2) 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

①本市に大きな災害が発生した場合、市社協に災害ボランティアセンターが設置されることになっています。万一来に備え、その設置・運営訓練を行います。

(3) 福祉バス・日赤福祉バス・やまゆり号（福祉バス）の運行

①福祉団体や福祉関連団体の学習・研修活動に利用していただくバスを運行します。

5 相談事業

①毎月第1、第3火曜日の「心配ごと相談」をはじめ、窓口で相談をお受けします。

6 介護サービス事業

①次の事業を行っています。経費は介護報酬等と一部、市の委託料が充当されます。

| 事業名 | 主な事業内容 |
|------------------|------------------------------------------------|
| 居宅介護支援事業 | ケアプランの作成、医療・介護・福祉連携を推進 |
| 訪問介護事業 | 介護が必要な在宅の高齢者、障がい者にヘルパーを派遣 |
| 通所介護事業 | デイサービスセンター「いずみ」と「松山」を運営 |
| 地域包括センター「にいだ」の運営 | 若浜・浜田・飛鳥学区の高齢者等の状況把握、介護や福祉、健康、医療等、生活に関する相談等を実施 |

7 広報活動、顕彰、慰霊事業

①会報「ふれあい」の年3回発行とホームページなどにより情報提供します。

②長年地域福祉活動に尽力され、功績が顕著な方を顕彰します。

③本市戦没者の追悼式典を開催します。

8 法人運営、施設管理

①地域福祉センターと八幡やまゆり荘（老人福祉センター）の管理・運営、八幡・松山・平田3支部の運営を行います。地域福祉センターでは車いすを貸し出します。

社会福祉協議会は、みんな（社会）で、しあわせ（福祉）を築くため、相談し、決めていく（協議）団体（会）です。民間福祉団体ですが、社会福祉法という法律に規定され、公的な性格も合わせて持つ非営利の団体です。

そのため、一定の収益のある介護事業を除き、事業運営資金の多くを市の予算からいただいているほか、市民の皆様から、会費という形でご負担いただいています。また、赤い羽根共同募金、日本赤十字社の事務局としての役割も担っています。

市民の皆様には、こうした社協の性格や事業活動をご理解いただき、社協会費、共同募金、日赤社費の納入について、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、皆様からいただく会費が人件費に充当されることは一切ありません。

予算

収入

(単位：千円)

| | 24年度収入 予算額 |
|------------|---------------|
| 会費 | 16,590 |
| 寄附金 | 1,000 |
| 経常経費補助金 | 91,747 |
| 受託金 | 35,457 |
| 事業収入 | 2,866 |
| 貸付事業等 | 5,050 |
| 共同募金配分金 | 12,793 |
| 介護保険 | 213,907 |
| 自立支援費等 | 11,510 |
| 利用料 | 518 |
| 雑収入 | 993 |
| 受取利息配当金収入 | 1,001 |
| 経理区分間繰入金収入 | 33,793 |
| 積立預金取崩収入 | 5,683 |
| 繰越金 | 3,384 |
| 合 計 | 436,292 |

支出

(単位：千円)

| 事業名 | 24年度支出 予算額 |
|-------------------|---------------|
| 法人運営 | 108,369 |
| 地域福祉センター管理運営 | 6,769 |
| 老人福祉センター運営(やまゆり荘) | 2,234 |
| 地域福祉推進事業 | 17,657 |
| 福祉バス管理運営(八幡支部) | 2,254 |
| 貸付事業 | 5,050 |
| 共同募金配分事業 | 12,793 |
| 社会福祉基金 | 4,799 |
| 福祉サービス利用援助事業 | 4,169 |
| 福祉バス管理運営 | 4,360 |
| 日赤福祉バス管理運営 | 3,060 |
| 生きがい活動支援通所事業 | 1,705 |
| ボランティアセンター | 5,694 |
| 生活福祉資金支援事業 | 3,902 |
| 法人後見事業 | 821 |
| 地域包括支援センター | 30,901 |
| 居宅介護支援事業 | 28,703 |
| 訪問介護事業 | 80,259 |
| デイサービス事業いずみ | 62,550 |
| デイサービス事業松山 | 50,243 |
| 合 計(一般会計) | 436,292 |



◀ “全国の皆さんに笑顔を届けたい” 書道家兼シンガーソングライターの友近890(やっくん) デイサービスいずみにてボランティア



少子高齢化や核家族化、過疎化、孤立化等が進行しています。通院や買い物、除雪、ごみ出しなど、ふだんの暮らしのちょっとしたことに助けが必要な高齢者や障がい者等の顕在化、増加が懸念されています。

また、東日本大震災は、安否確認をはじめとする日頃の地域のつながりや支え合う力(絆)「災害弱者」(高齢者、障がい者、妊婦、子どもなど)と言われる方々へのきめ細やかな対応、ボランティアなど公益活動の振興がいかに大事であることを示しました。

酒田市社会福祉協議会(市社協)は、こうした認識のもと、「住み慣れた地域で安心して生活でき、権利が擁護される仕組みづくり」を目標に24年度の事業に取り組みます。

1 市民による支え合い活動

(1) 新・草の根事業

①各学区・地区社会福祉協議会(学区・地区社協)を主体に、次の事業を実施します。

| 事業名 | 主な事業内容 |
|---------------|--------------------------------|
| 見守りネットワーク支援 | 一人暮らし高齢者等の安否確認、孤独死防止など |
| 合同研修 | ネットワーク対象者の情報交換 新たに自殺予防研修も実施 |
| ふれあい(老人)給食 | 高齢者等への給食(配食、会食)を通じて交流促進 |
| 地域あんしん事業 | 学区・地区社協役員等による身近な相談を実施 |
| 地域交流(いきいきサロン) | 閉じこもり防止、世代間交流、健康増進の活動 |
| 介護予防講座(市委託事業) | 軽体操、健康講話、歌、バス研修等を通して介護予防 |

(2) 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金事業

①市民の皆様募金をお願いし、福祉施設や福祉事業、低所得世帯へ配分します。

(3) 赤十字活動への協力

①市民の皆様日赤社費の納入をお願いし、災害発生時の見舞金等支給をはじめ、赤十字活動に協力します。東日本大震災の義援金も引き続き受け付けています。

特集

退職した皆さま、 退職が近い皆さま



もっと社会とつながりませんか？

仕事に追われながら、家のことや子育て、自分の趣味などに忙しい現役世代。逆に、退職後でもないシニア世代は時間をどう使ったらよいか、戸惑うことも多いと聞きます。地域や社会と関わり、役割をもつことで、暮らしが生き生きと豊かに変わっていくことも多いのでは。

さまざまなボランティアや趣味活動で活躍しているおふたりにお話を伺いました。

こうさが
あつたかくなる

輝
富樫 英一さん
(駅東)



昭和四十三年、駅東地区に転入した頃は、自治会もなく家もまばらでした。顔見知りもない、住民の意思疎通もできない状況ではだめだと、四十七年頃自治会を数人で立上げました。協力してくれる人もでてきて、前に進めば、カタチになってくる喜びを実感したことを覚えています。

自分のいっしょも豊かに

民生・児童委員を十年近くや

りました。訪ねた人が自宅で倒れているのを発見、危機一髪の場面もありました。今でも「あのとき助けてもらって、いがったけ」と言われると嬉しくなります。

最近、自治会等一般社会との関わり、関心度、協力体制が希薄化傾向にあります。責任感ではないが、誰かが進んでやらないと、と思います。現役で働いているときは、時間が限られています。

『できるときに、できる人が』なるべく、現役時代から地域と関わる意識を持つてほしいと思います。

学びの姿勢で

今も、高齢者を訪問する生活支援員のボランティアをしています。人生の大先輩が、笑顔で迎え、帰りは手を振って見送ってくれます。こころが温かくなります。その姿からいろいろなことを学びます。

自分も先輩にしてもらったように、地域の後輩に引継げる「何か」をこれからも探し続けたいと思います。

介護予防講座

アルバム



▲浜中コミセン 悪徳商法・寸劇



▲東禅寺コミセン がんとストレスについて



「役にたてる」「喜び」

輝 井上 正博さん (寿町)

四十数年勤めあげ、ほっとしたのもつかの間「何かしたい」「社会とつながりたい」と思うようになりました。家にばかりいて情報は入らないし、ボケてくるような気がしました。ただ時間はあるので、現役時代からやっていたウォーキングをじっくり楽しめるようになりました。自治会の役員も任せられ、また中高年英会話教室やパソコンクラブにも参加しています。

昨年からは、自分で金銭管理をするのが困難な方に生活費をお届けしたり、さまざまな支払のお手伝いをする生活支援員もしています。

技術や特技を活かそう

支援員活動で、相手の方と対するときは、しっかり準備をします。金融関係に勤めていたので、当時培ったさまざまなスキルや人間的な関わりなど活かせることがたくさんあります。

『相手の目線で話を聴く』『つねに、誠意をもって応える』など、あたりまえのことをあたりまえにする。現職時代に身につけたことです。

これからはお返ししたい

これまで、会社で世話になった分、社会や誰かのために役にたてるとしたら、うれしいことです。

これから定年を迎える世代には、**今から自分の好きなこと、できることを意識して、退職したらすぐにチャレンジしてほしい**と思います。きつと、仕事をしていた頃には感じなかった、新鮮な気持ちになれると思います。

社会とつながるために…はじめてみませんか？

活動のきっかけ

- 地域の催しに参加する。役員などのお手伝いをする。
- 回覧板をまわすとき、ひと声かける。隣近所と仲良くする。いざというときの連絡方法など共有できるといいですね。
- ボランティアセンターや、地域のコミセンなどで、自分の特技や好きなことに関する活動の情報を集める。参加する。
- 友人・知人とつながり、できることを話し合う。

活動のU・M・M・N

- 施設で：行事の手伝い・傾聴・読み聞かせなど
- 収集・アルミ缶・プルタブ・ペットボトルのキャップ・使用済み切手など
- 近所や地域で：防災・防犯活動・スポーツ少年団の指導、子育てイベントなどの活動・自然を守る活動
- 障がいのある人へ：介助・行事の手伝い・点訳・音訳・手話・要約筆記
- 他にも：観光ガイド・病院や図書館での活動・絵手紙・外国人の支援など



▲飛島総合センター 地域みんなで支え合おう



▲日向コミセン ミュージックセラピー

市民が支えあうボランティアの心 酒田市ボランティアセンターが開設

窓口が明確に

酒田市社会福祉協議会ではボランティア相談の窓口として、酒田市ボランティアセンター（斎藤豊司所長）を設置しました。

これまで公益活動を支援している酒田市の窓口との連携を図りながら、より個別的なニーズにも対応していきます。

市民が中心に置かれ個人が尊重される活力がある社会を作るために、活動を興し、その運動体になることをめざしていきます。

現在は二名の職員が常駐し、個人やグループ、団体の相談にあたります。さらに活動団体を結ぶネットワーク化、支援する仕組みを考えていきます。そのうえで定期的なお便りやホームページの開設などを通して市民の皆さんに多様な情報の発信も行っていく予定です。

幅広く活動の支援を

現在、酒田市内でも自治会や個人、学校、会社だけでなく多くのボランティア、NPO団体などが活動をしています。その数も八十に近く、年々増加しています。

活動分野も、医療、福祉、まちづくり、地域の安全、環境保護、子ども支援など幅広い分野に及んでいます。

少子高齢化により本市の平成二十三年度現在の小学生数は五年前に比べ五百七十人の減少、大きな小学校が一校消えるほど。一方高齢化率は二十八・四％、三人に一人が高齢者は間近です。これまでのように行政などに頼る仕組みから、市民自身による制度の隙間を埋めていく支え合いの仕組みづくりへの変化が求められてきています。

プロボノのすすめ

新しいボランティア形態である「プロボノ」に期待が寄せられています。

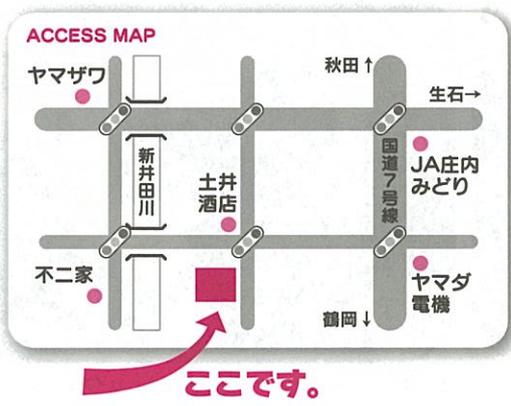
プロボノとは仕事の技術を活かして社会的課題に取り組むボランティア活動。これまでの福祉に偏ったボランティアイメージはなく、より身近な活動として受け止められています。

昨年実施した、被災地支援ボランティアバスにも、専門の職業人がたくさん参加しました。連携することにより新たな仕組みづくりへの大きな可能性が開いていきます。

【プロボノ：pro bono publicoの略。各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般】

中間支援組織として

ボランティアセンターは、市民・行政・企業などを結び、中立的な立場で活動を支援します。運営には市民の皆様から直接参加して頂くことが大切です。現在センターでは登録制度の準備を進めており、ここから多様な支え合いが期待されます。また、センターの運営委員会を設置すべく準備に入っています。



▲石巻市でボランティアに励む高校生

●酒田市ボランティアセンター
担当：斎藤・伊藤
酒田市新橋二丁目一の十九
電話二四・二六二六（直通）

子どもたちの笑顔に

出会いたい…

泉学区子育て応援団 コロボックル

出会い・交流・
そして成長

地域の中で、子どもたちが心豊かにたくましく成長してほしいと願いをこめて発足し、五年。未就学児を対象に、月一回第二土曜日の十時から、親子での遊びの場を泉学区コミセンで開いています。当初の民生・児童委員中心から、今は地域で運営スタッフを募り活動しています。

若いお母さんから、子育ての悩みを打ち明けられたりも。

一緒に悩もう、一緒に笑おう、一緒に感じよう。今日もきてよかったと思えるように…



開催チラシを配り、回覧板もまわして参加を呼びかけます。小さい頃参加したことを思い出して、夏休みに小学生が遊びにくることもあります。

『こどもは地域の宝』ふだんから声をかけ合って、みんなで見守る泉学区です。

応援団手づくりの的当てなど遊具遊びや、季節の行事を企画し、親子が楽しくふれあえるように声をかけています。

※泉学区子育て応援団代表の吉村澄子さんにお話を伺いました。

地域子育て応援団は次の地区で行われています。

- 富士見学区**
富士見学区コミセン TEL: 22-4845
- 泉学区**
泉学区コミセン TEL: 34-0899
- 宮野浦学区**
宮野浦学区コミセン TEL: 31-2286
- 鳥海・南遊佐学区**
本橋コミセン TEL: 28-3202
上田コミセン TEL: 25-2201
南遊佐コミセン TEL: 28-2708
- 新堀学区**
新堀コミセン TEL: 93-2001
- 南平田学区**
砂越・砂越緑町コミセン TEL: 52-3519
- 中平田学区**
中平田コミセン TEL: 22-3001
- 琢成学区**
琢成コミセン TEL: 26-7715
- 一條学区**
一條コミセン TEL: 64-2823

福島に帰ります

太田 啓子さん



震災直後、避難所を転々としていたときに、親戚の人から酒田の親子スポーツ会館避難所を教えただき、二ヶ月ほどお世話になりました。現在は、市内のアパートで生活しています。

近所の人にも声をかけていたほっとしているところです。

先日、避難解除となり、自宅の様子を見てきました。両隣の人たちも戻ってきていたので、私も帰ることに決めて、今日は主人とほっとして喜んでいきます。



▲笹巻きづくり

酒田の皆さんには、本当にお世話になりました。夢・希望・元気をいただき「ありがとう」のこぼれを忘れられない一年でした。本当にお世話になりました。

担当者より

今年に入ってから、東日本震災により酒田へいらつしゃっての方たちへの訪問やイベントをおこなっています。お話を伺いながら、いっしょに美術館をまわったり笹巻きを作ったりしました。今後、「こんな会をやってほしい」などのご意見やご要望をお寄せください。(電話二三・五七六五)

つながり∞ふくしま カンパジ販売中

地震・津波・原発による大きな被害。早くもとの仕事に戻りたいけれど仕事がない。そんななか南相馬市内の福祉作業所が連携し、南相馬ファクトリーをつくり、仕事おこしをはじめました。第一弾が缶バッジの販売です。

カンパジ 一個 百五十円

売上は、作業所で働く仲間の工賃として全額送られます。バッジのイラストは、障がいを持つ仲間やスタッフのデザインで、ひまわりの種がついています。

取扱

新橋二丁目一十九
酒田市社会福祉協議会
電話二三・五七六五



◆岩手・宮城・福島からの転入ママへ

お茶しませんか？

- 日時 毎月第4月曜日10時～12時
- 場所 NPO法人“にこっと”（二番町7-8）
- 参加費 無料
- 問合せ “にこっと”へ 電話で 0234-23-6330

◆福祉事業に共同募金を申請できます

- ①利用者の通院や送迎のための車が欲しい…
社会福祉法人などが経営する施設・団体及び社会福祉事業を活動目的とするNPO法人への車両整備配分事業があります。
- ▼配分額は総事業費の4分の3
 - ▼限度額は150万円
- 県内に3台が配分されます。
- ②福祉活動を立ち上げたいが、資金がない…
先駆的かつ多様な民間の社会福祉活動及び活動の立上り支援のための配分事業です。
- ▼配分額は総事業費の4分の3
 - ▼限度額は30万円
 - 問合せ 山形県共同募金会酒田市支会
電話0234-23-5765

◆障がい者就労移行支援事業など

- ・18歳から65歳の障がいのある人が、一般就労に向けた実習などの支援を行います。
- ・6歳から18歳までの障がいをもつお子さんを対象に、放課後などに基本的な生活習慣が身につくような支援を行います。今秋、開始予定です。詳しくはお問合せください。
- 問合せ
ヘルパーステーションわかば 0234-26-6670

◆障がい者支援施設 和光園の作業所「いっぽ」が出来ました

自然の素材を使った作品（木工品）や花の苗などを販売しています。

- 営業時間 10時～15時30分
- 場所 〒999-6848
酒田市竹田字下川原201-5
(松山地区の国道345号線庄内橋近くにあります。)
電話 0234-28-8030

◆心配ごと相談所（毎月第1・3火曜日）

- 6月19日(火) 7月3日(火) 17日(火)
- 時間 いずれも 9:30～15:00
 - 場所 酒田市地域福祉センター
酒田市新橋2-1-19
電話 0234-23-5765

相談は無料、心配ごと相談員（人権擁護委員）が対応します。秘密は守られます。

◆こころがホッとする相談会

- 対象 庄内地域の企業・団体等
被雇用者と労務管理者等
- 内容 精神科医師による相談
- 相談日 7月5日(木)14時～
- 場所 庄内総合支庁分庁舎 1号会議室（3階）
三川町大字横山字袖東7-1
- 予約・問合せ 庄内保健所 0235-66-4931

◆ボランティア活動助成金情報

- 松翁会 社会福祉助成金
 - ・障がいのある人、難病の方への先駆的・開拓的事業を優先する。
 - ・助成対象 原則として法人、団体
 - ・応募締切 平成24年7月31日(火)
 - ・問合せ 一般財団法人 松翁会
 - ・電話 03-3201-3225
- 社会福祉法人 清水基金
 - ・障がいのある人の福祉の増進を目的として運営されている社会福祉法人の諸事業、利用者のための施設、車両、機器等への助成
 - ・応募締切 平成24年7月31日(火)
 - ・問合せ 社会福祉法人 清水基金
 - ・電話 03-3273-3503

防災マメ知識

◆非常食について

乾パンは、歯の弱い高齢者や幼児などは食べにくいですね。3年保存のきくやわらかいパンの缶詰などもあります。また、10年保存できる水（アルミ缶）も市販されています。